

# 値読み取り方法

更新日 2018/1/31

※ [オンラインマニュアル](#)はより分かりやすくなっている可能性があります。

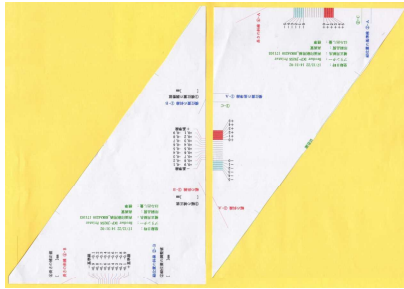
読み取った値は**0.01**ミリ単位で入力できますが、印刷解像度の関係で0.04～0.05ミリ単位で調整されます。

(例 0.23 と入力すると 0.21 に、0.24 と入力すると 0.25 に調整される)

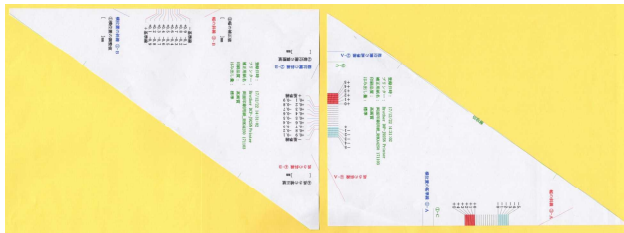
## 印刷位置調整値の読み取り

印刷した測定シートを切取線で切断します。

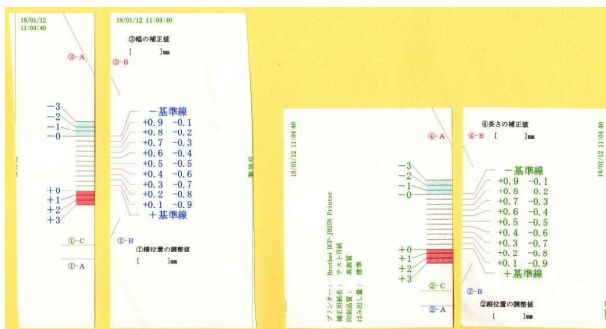
横位置の調整値と幅の補正值は、測定シートの長い辺を合わせます。



縦位置の調整値と長さの補正值は、測定シートの短い辺を合わせます。



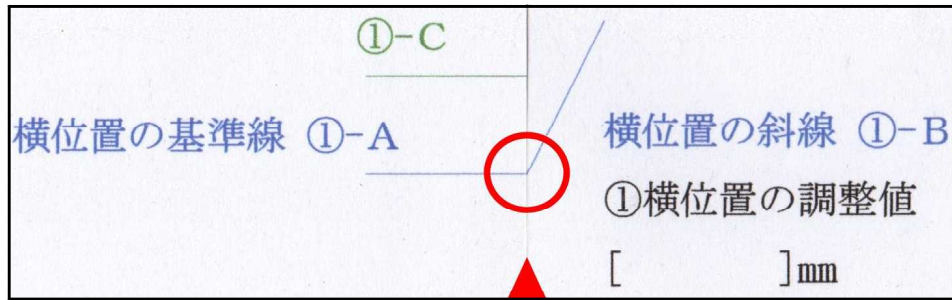
L版サイズと単票名刺用紙の場合は、測定シートが2枚になるのでそれぞれを上下と左右に切り分けて、元の上辺と下辺、左辺と右辺を合わせる。



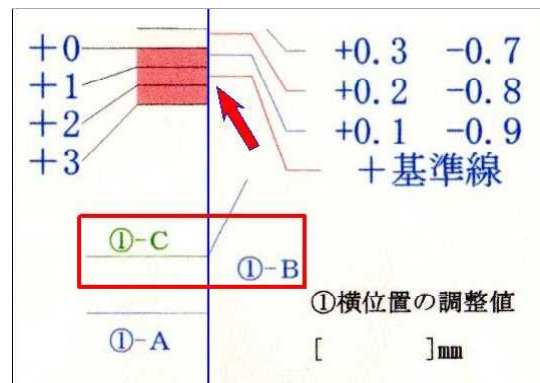
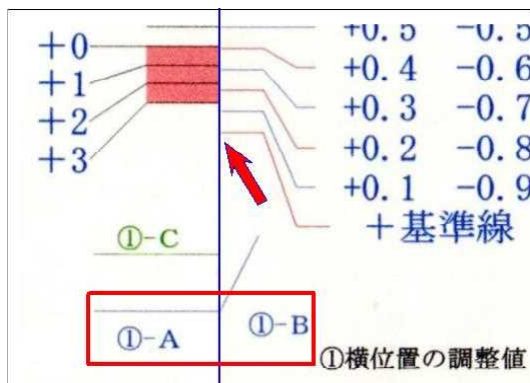
## 横位置の調整値の読取り方法

横位置の基準線 ①-A の端と 横位置の斜線 ①-B の端を合わせる

以下の図では赤い▲が指している線が用紙の合わせ目



+基準線があずき色の+5 (+3) よりも下になる場合は、①-Cと①-Bを合わせて、読み取った値に5または3を加える。

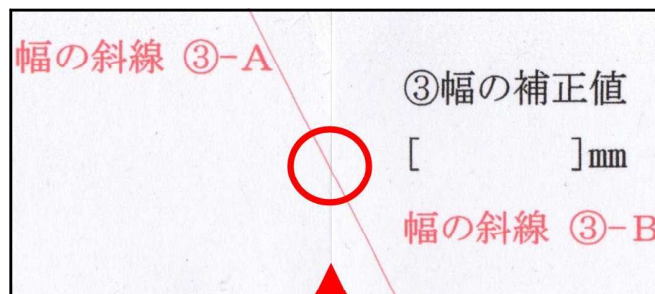


上の例は①-Aと①-Bを合わせると (左の図)、左側目盛りの最大値+3を超えているので、右の図のように ①-Cと①-Bを合わせている。

この場合は左側目盛りの最大値が+3なので、読み取った値には5ではなく3を加える。

## 幅の補正值の読取り方法

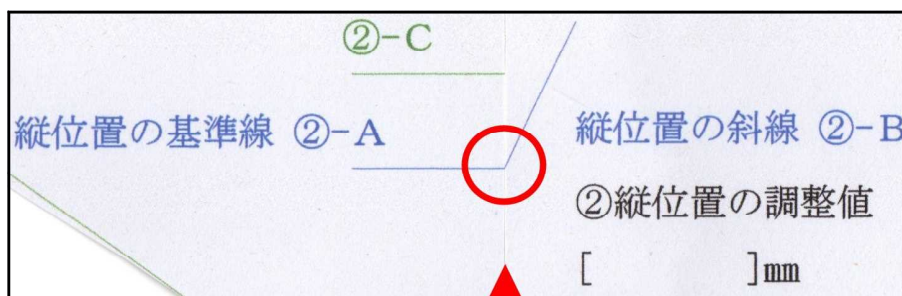
幅の斜線 ③-A と 幅の斜線 ③-B が一直線になるように合わせる



用紙と用紙の間が重ならないよう、また隙間ができないようにピッタリと合わせてください。

## 縦位置の調整値の読取り方法

縦位置の基準線 ②-A の端と 縦位置の斜線 ②-B の端を合わせる



+基準線があずき色の+5 (+3) よりも下になる場合は、②-Cと②-Bを合わせる

## 長さの補正值の読取り方法

長さの斜線 ④-A と 長さの斜線 ④-B が一直線になるように合わせる



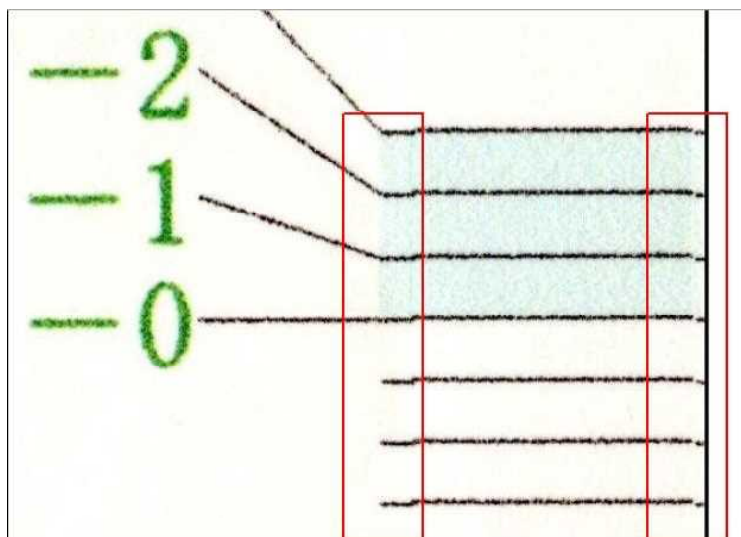
用紙と用紙の間が重ならないよう、また隙間ができないようにピッタリと合わせてください。

この時点でテープや付箋紙で貼っておくと読み取りが楽に行えます。

付箋紙で仮留めをして、きちんと合わさっていることを確認してからテープで貼ると確実です)

## 印刷が不正な場合は印刷品質を高める

右図はプリンタから出てくる最後の部分です（右の垂直線が用紙の端）。この図の左側から印刷されてきて、最後の部分で印刷がズレています。このような場合は、印刷品質を高めると改善されることがあります。



## 整数部分の読み取り

右目盛りの**-基準線**が左目盛りの**-0**～**-3**の**範囲内**（うすい空色の部分）にあれば、**補正值**は**マイナス**です（次ページにずがあり）。

右目盛りの**+基準線**が左目盛りの**+0**～**+3**の**範囲内**（うすいあずき色の部分）にあれば、**補正值**は**プラス**です。

-3と-2の間であれば -2

-2と-1の間であれば -1

-1と-0の間であれば -0

+0と+1の間であれば +0

+1と+2の間であれば +1

+2と+3の間であれば +2

**-基準線**と**-0**の線と、**+基準線**と**+0**の線が一致していれば、補正值は **0** です。

## 小数部分の読み取り

**-基準線**と左目盛りのうすい空色の部分の目盛り線が一致しているか、

**+基準線**と左目盛りのうすいあずき色の部分の目盛り線が一致している場合は小数部分は 0 ということです。

小数部分が 0 出ない場合は、右目盛りの**-基準線**、**+基準線**の間の9本の線と、左目盛りの全ての線に注目します。

一致している線があれば、その右側の数字を読みます。

**補正值**が**プラス**の場合は左列の**+0. 1**～**+0. 9**の数字を読みます。

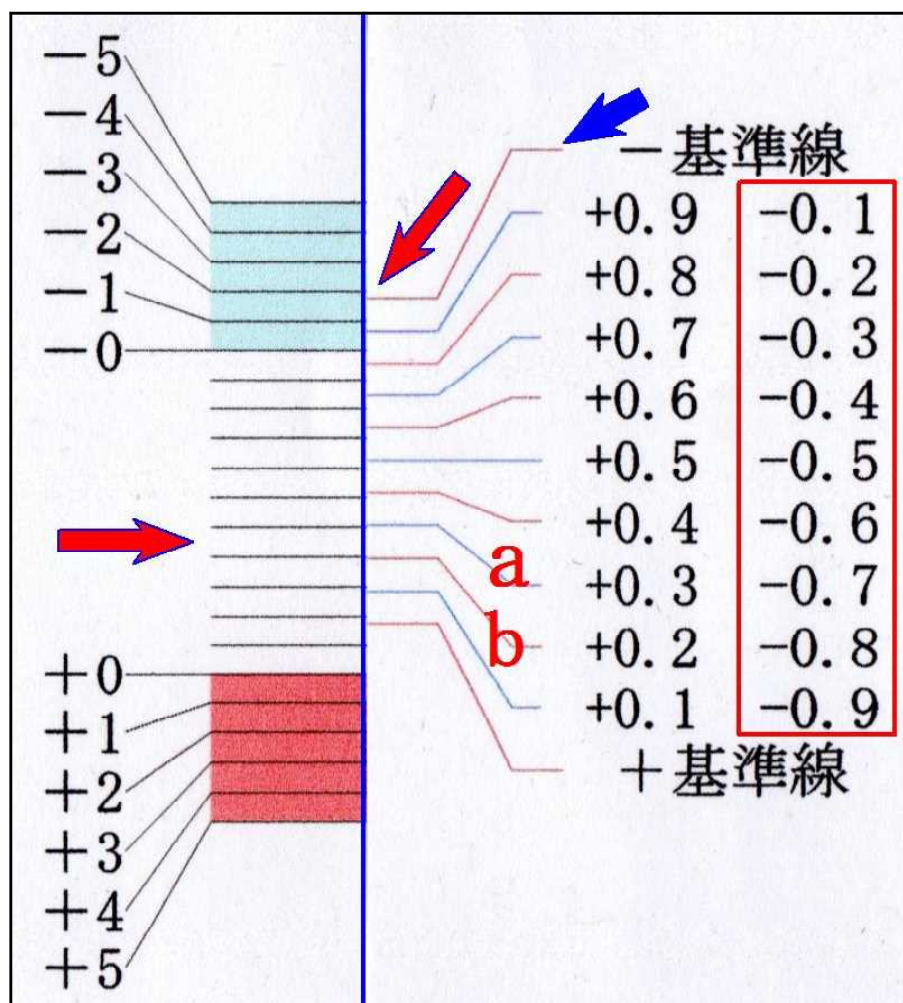
**補正值**が**マイナス**の場合は右列の**-0. 9**～**-0. 1**の数字を読みます。

## 値の算出

整数部分と小数部分の合計が値です。



読み取り例 2



－基準線（青の矢印）が－1と－2の間にあるので、整数部は－1です。  
 小数部はマイナスの数字（赤線の囲み）を読みます。  
 小数部はaの線が左の目盛り線の少し上、bの線が左の目盛り線の少し下にあるので、  
 aの－0.7とbの－0.8の中間の－0.75となります。  
 整数部と合計すると－1.75です。

（0.01ミリ単位で指定はできますが、0.04ミリくらいの間隔で処理されます）  
 （例 0.23 と入力すると 0.21 に、0.24 と入力すると 0.25 に調整される）